

「市民フォーラム」と万博公園

11月29日、長久手の愛知県立大学で「環境にやさしい交通を考える市民フォーラム in なごや」が開催され参加した。主催は市民協働ネットワーク「リニモねっと」などで、スタッフの献身的活動ぶりが目についた。とりわけ「地域公共交通政策の春に期待する」と題した基調講演、「なごやで新しい都市交通を模索する」というパネルディスカッション、世界のLRT写真展などが興味深く参考になった。



終了後、久しぶりに「愛・地球博記念公園」に寄ってみた。夕方近かったので、公園を散策する人はあまり多くなかった。とにかく広々とした公園であり、万博開催中の混雑と喧騒と違って静かに散策できた。夕日に輝く大観覧車がなかなか綺麗だった。

リニモの経営が芳しくない。巨額のインフラ整備の費用に見合うだけの乗客を確保できないことが原因だ。万博開催中の超満員から一転して、乗客数は低迷をつづけている。



ここでも過大需要予測の問題点が指摘できる。なんとかリニモを存続させ、交通まちづくりを展開しようと「リニモねっと」が結成された。高コストのリニモ建設の是非が問われるが、こうした交通まちづくりを推進するNPOの活動に注目したい。それと基調講演でも触れられたが、インフラは「公費負担とするような方向も検討されなくてはならない。」



リニモの駅前に広大な駐車場がある。普通車は500円と表示されていた。リニモを使うより、だんぜん安上がりだ。公園に訪れた人の多くがマイカー利用のようだ。帰りのリニモは例によってがらがらであり、お陰でゆったりと岐路に着くことができた。

(2008年12月28日 記)